<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	観光課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】滞在型観光の推進

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	観光消費額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	2,213	2,217	2,221	2,225
現況値	2,209億円/年	実績値	2,406			
目標値	2,225億円/年	達成率(%)	108.7			
備考		達成度	4			

指標名	観光入込客数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,611	1,659	1,708	1,759
現況値	1,566万人/年	実績値	1,749			
目標値	1,759万人/年	達成率(%)	108.6			
備考		達成度	4			

指標名	延べ宿泊者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	571	588	605	623
現況値	555万人/年	実績値	585			
目標値	623万人/年	達成率(%)	102.5			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・アフターコロナ観光キャンペーン事業
・地域の魅力を活かした着地型旅行商品造成・販売促進事業
・教育旅行誘致推進事業
・県北アートを切り口とした県観光振興事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

7月から10月にかけて「おかやまハレいろキャンペーン2025」を開催し、大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭2025との相乗効果による誘客及び県内周遊の促進に取り組んだ結果、観光客数は備前エリアを中心に増加し、県全体でも前年同時期及びコロナ禍前の令和元年同時期を上回った。また、令和7年の外国人延べ宿泊者数は67万人を超え、過去最高を更新するなど、観光需要は堅調に回復している。
県北部12市町村をエリアに開催する「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027に向け、開催時期やアート作品設置市町村を決定した。また、ポスター、チラシの作成やPRイベントの実施等により、開催に向けた機運の醸成を図った。

6 今後の施策推進に向けての課題

大阪・関西万博等を契機とした誘客拡大の流れをしっかりと持続させ、その効果を県内全域に波及させていくため、9月から11月にかけて、全県的な観光キャンペーンである「おかやまハレいろキャンペーン2026」を実施しており、令和9年秋に開催する「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027を見据えつつ、「アート」と「食」をテーマに、岡山ならではの魅力的な企画を県内各地で展開することで、本県の認知度向上や宿泊客の増加を図る必要がある。
「森の芸術祭　晴れの国・岡山」2027の開催に向けては、参加アーティストやアート作品設置会場を早期に選定することで、市町村や関係施設等へ迅速に情報提供し、円滑に作品制作、会場運営を行う必要がある。また、広報資材を早期に制作し、事前のPRや周知を行うとともに、首都圏や海外からの誘客のための情報発信を強化する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	観光課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】多様な主体と連携した魅力発信

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	観光入込客数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,611	1,659	1,708	1,759
現況値	1,566万人/年	実績値	1,749			
目標値	1,759万人/年	達成率（%）	108.6			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・デジタルマーケティングを活用した観光情報発信力強化事業
・広域観光推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

隣県と連携したドライブマップによるPRやイベント出展によるPRのほか、NEXCOとの連携による高速道路を利用した情報発信、SNSを活用したデジタルマーケティングなどにより、ターゲットを意識した誘客に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

大阪・関西万博等を契機とした誘客拡大の流れをしっかりと継続させ、その効果を県内全域に波及させていくため、DMOや近隣県、民間事業者等の多様な主体と連携し、引き続き、ターゲットを意識した戦略的な観光プロモーションを展開することで、一層の認知度向上及び誘客の促進を図る必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	観光課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】国・地域の特性を踏まえたインバウンド戦略の展開

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	訪日外国人旅行消費額	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	151	160	169	180
現況値	142億円/年	実績値	227			
目標値	180億円/年	達成率(%)	150.3			
備考	観光庁「インバウンド消費動向調査」	達成度	5			

指標名	外国人延べ宿泊者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	516	547	580	620
現況値	487千人/年	実績値	679			
目標値	620千人/年	達成率(%)	131.6			
備考	観光庁「宿泊旅行統計調査」	達成度	5			

3 関連する事業名

・海外プロモーション強化事業
・情報発信力強化事業
・受入環境充実事業
・瀬戸内ブランド推進事業

4 施策達成レベル

5.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

大阪・関西万博開催等の好機を捉え、韓国でのトッププロモーションをはじめ、SNS等での積極的な情報発信、現地旅行博への出展や商談会の開催、海外旅行会社の招請ツアーなどのプロモーションを強化するとともに、観光事業者のインバウンド対応の促進等受入環境の充実を図った結果、2025年の外国人延べ宿泊者数は前年比32.1%増となり、2007年の調査開始以降、過去最高を記録した。

6 今後の施策推進に向けての課題

大阪・関西万博等を契機とした誘客拡大の流れを持続させ、その効果を県内全域に波及させるとともに、インバウンドによる県内消費を安定的に確保できるよう、ターゲット市場の動向に合わせたプロモーションや、高付加価値旅行者等の新たな潜在層アプローチ強化に取り組むなど戦略的に誘客促進を図る必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	航空企画推進課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】航空ネットワークの拡充と岡山桃太郎空港の利便性向上

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	岡山桃太郎空港の国際線利用者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	25	28	31	34
現況値	26万人/年	実績値	28			
目標値	34万人/年	達成率（%）	112.0			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・航空ネットワーク維持・拡充事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

就航地等のPRデスクを活用して収集した情報を踏まえ、リムジンバスへのラッピング広告の掲載事業等のプロモーションや、航空会社等と連携した集客・PR事業を展開するとともに、岡山桃太郎空港利用促進コーディネーターにより、修学旅行における空港利用の働きかけなどを実施した結果、2025年度の国際線利用者数は28万人となり、目標を上回った。

6 今後の施策推進に向けての課題

利用者のさらなる増加に向け、東南アジア地域を主なターゲットに、航空会社等へ新規路線の開設を働きかけるとともに、新規就航の呼び水となるチャーター便の運航実績を積み重ねる必要がある。

<様式2>

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	都市計画課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【重点】岡山後楽園の魅力づくり

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	岡山後楽園の入園者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	826	850	875	900
現況値	782千人/年	実績値	834			
目標値	900千人/年	達成率（%）	101.0			
備考		達成度	4			

3 関連する事業名

・岡山後楽園魅力向上事業
・岡山後楽園・岡山城連携推進事業

4 施策達成レベル

4.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

賑わい創出や魅力向上を図るため、春・夏・秋の幻想庭園、和文化体験事業や亭舎の公開、四季折々の伝統行事を行った。訪日外国人観光客が年間を通じて好調だったほか、大阪・関西万博でのブース出展等の広報活動を強化するなどした結果、日本人観光客も増加し、コロナ禍前の令和元年度以来6年ぶりに入園者数が80万人を超えた。
また、園内亭舎の屋根の葺き替えや、防火・防犯対策などを行い、文化財庭園の保存・継承に努めた。

6 今後の施策推進に向けての課題

岡山後楽園・岡山城等連携協議会での協議や、後楽園魅力向上委員会からの提言等を踏まえ、岡山市を始めとした関係機関と連携したさらなる後楽園の魅力向上に取り組み、国内外からの入園者の一層の増加につなげていく。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	自然環境課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】観光資源としての自然や文化の積極的な活用

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	自然公園利用者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	1,108	1,119	1,129	1,140
現況値	950万人/年	実績値	1,092			
目標値	1,140万人/年	達成率(%)	98.6			
備考		達成度	3			

指標名	県有文化財施設の入場者数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	122,500	127,300	132,500	138,000
現況値	99,160人/年	実績値	120,808			
目標値	138,000人/年	達成率(%)	98.6			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・国立公園等利用環境整備事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

利用者が自然公園等の美しい景観を満喫できるよう修景伐採を行うとともに、自然公園施設の安全性と機能性の維持を図るため老朽化対策等を実施することで、自然公園の利便性や魅力向上を図ることができた。

6 今後の施策推進に向けての課題

自然公園の利便性や魅力向上を図るため、自然公園施設のさらなる充実を図るとともに、文化財について分かりやすい解説等の充実を図り、魅力をより効果的に発信することで、自然公園及び県有文化財施設の利用をさらに促進する必要がある。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	港湾課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】港を中心としたにぎわいの創出

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	宇野港へのクルーズ客船の寄港回数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	16	18	22	25
現況値	12回/年	実績値	15			
目標値	25回/年	達成率(%)	93.8			
備考		達成度	3			

3 関連する事業名

・宇野港利用促進事業

4 施策達成レベル

3.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

クルーズ客船の誘致のため、宇野港航路誘致推進協議会に対する支援やポートセールス、宇野港の認知度を高めるための雑誌への広告掲載に取り組んだ。

6 今後の施策推進に向けての課題

クルーズ客船の寄港回数をコロナ前の水準に回復させ、宇野港のにぎわいを取り戻すために、積極的な広報活動や地元団体と協力したおもてなし活動を実施する。

＜様式2＞

2026年度　施策評価シート（2025年度実績）

1 評価施策名

担当部課室	観光課

重点戦略	Ⅲ 地域を支える産業の振興
戦略プログラム	観光振興プログラム
施策名	【推進】サイクリングを通じた観光振興

2 生き活き指標（推進施策の指標）の進捗（達成）状況

指標名	ハレいろサイクリング専用ホームページビュー件数	年度	2025	2026	2027	2028
		目標値	185,000	190,000	195,000	200,000
現況値	178,281件/年	実績値	111,421			
目標値	200,000件/年	達成率（%）	60.2			
備考		達成度	2			

3 関連する事業名

・おかやまハレいろサイクリングルート魅力強化事業

4 施策達成レベル

2.0	生き活き指標又は推進施策の指標の達成度を平均して 施策達成レベルを算出

5 施策推進による主な成果

「ハレいろ・サイクリングOKAYAMA」専用WEBサイトを活用し、推奨8ルートを中心に魅力発信を行うとともに、大阪・関西万博や台湾の旅行博でのPR等を通じて、情報発信を行った。
また、2023年度から、推奨ルート周辺の観光施設や飲食店等との連携により、「ハレいろサイクルカフェ」制度を解説し、2025年度は新たに32施設・店舗を登録し、合計126施設・店舗となり、ルートの魅力向上につながった。

6 今後の施策推進に向けての課題

サイクリングルートの利用者拡大に向け、サイクリングを気軽に楽しむライト層をメインターゲットとして、本県のサイクリング推奨8ルート周辺の観光・グルメスポット等の魅力強化を図るとともに、専用WEBサイトを活用したより分かりやすく訴求力のある情報発信に取り組み、県内周遊の促進と誘客拡大を図る必要がある。